



OMESOGO

愛されるチームに。愛される人に。



2023/4/25

中央大学附属高校に勝利！！

2023年4月23日（日）、**高校総合体育大会東京都西支部予選**がスタートしました。初戦の相手は私立の**中央大学附属高等学校**（以下、中大附属）。中大附属は普段から人工芝のグラウンドで練習をしており、足元の技術の高いチームです。試合の前々週、前週には、拓殖大学第一高校や早稲田実業高校に練習試合をお願いし、技術のあるチームに対しての準備を重ねました。格上を相手に臆することなく戦おう、と当日を迎えます。当日は都立国立高校会場の第二試合、11時15分キックオフ。新型コロナウイルスの影響により無観客が続いていた公式戦ですが、今回は有観客で実施されたため、**保護者や友人など多くの方が応援**にかけつけてくれました。

部員数の多い中大附属に対し、我々青梅総合は小規模なチームです。先にアップを開始した中大附属の大きな掛け声に負けじと、青梅総合も**部員一人一人**が大きな声を出し、しっかりとアップを進めました。一人一人の**自覚と責任**をテーマに総体予選の準備をしてきた部員たちは、気持ちのこもった良い表情で試合に入ります。

青梅総合は「自分たちのサッカーを！」なんて格好いいフレーズを掲げて試合に臨むことはできません。**自分たちができることを**、愚直に、ひたむきに、1試合を通して戦いきることを確認し、ベンチメンバー含め、チーム一丸となって戦います。試合は、技術に長ける中大附属がDFラインで繋ぎながら青梅総合DFとGKの間を狙ってパスを入れてくるのに対し、青梅総合は**組織的な守備**を意識し、声を掛け合って跳ね返していきました。青梅総合も少しずつ攻撃にも枚数をかけ、ゴール前に迫ります。お互いにコーナーキックなどの機会を得ながらも、決定的な場面は訪れず、じりじりと時間が経過していきます。

そのまま前後半80分が過ぎ、PK戦に入ります。先攻は青梅総合。1人目10番がしっかりと決めます。続く後攻、中大附属の1人目、青梅総合**GK1番がセーブ！**しかし、青梅総合2人目は相手に止められます。中大附属2人目、またも1番が**ファインセーブ！**その後お互いに決めあい、青梅総合5人目、今日大活躍の1番がキッカー。気持ちのこもったシュートが**ゴールネットを揺らします！**

前後半 0-0、PK4-2 で中大附属に金星を挙げる事ができました。1試合を通して、チーム全員が集中してよい試合をしてくれたと思います。



次戦の相手は都立国立高校です。かなりタフな試合になることが予想されます。青梅総合は次戦も、自分たちができることをひたむきに、チャレンジャーとして**全力で戦います！**

次戦も会場は都立国立高校です。**応援よろしくお祈いします！**